

2022年4月1日

一般社団法人日本独文学会 2022年度事業計画書

一般社団法人日本独文学会は2022年度に次の事業を行うことを計画している。

1. 春季研究発表会および秋季研究発表会の開催
 - ・ 2022年5月7日および8日に、立教大学の担当で春季研究発表会を対面で開催する。
 - ・ 2022年10月8日および9日に、北海道支部の担当でオンラインによる秋季研究発表会を開催する。

2. 機関誌 „Neue Beiträge zur Germanistik“ の発行
 - ・ 164号（和欧混合誌，特集テーマは「技術／テクノロジー」）を刊行する。
 - ・ 2022年度上半期に165号（欧文誌，特集テーマは „Literatur/Geschichte“）を，2022年度下半期に166号（和欧混合誌，特集テーマは「Perspektive/視点とドイツ語研究」）を，それぞれ編集・刊行する。
 - ・ 2023年度上半期に刊行を予定している167号の原稿募集を開始する。

3. 文化ゼミナール・語学ゼミナール・教授法ゼミナールの開催及びその記録論集の発行
 - ・ 第48回語学ゼミナール（実行委員長：宮下博幸）は，コンスタンツ大学の Josef Bayer 教授を招待講師とし，総合テーマ „Probleme der deutschen Syntax: Wortstellung, Kasus, Paradoxien“ を掲げて，下記の通り実施する予定である。
期日：2022年8月29日（月）～9月1日（木）3泊4日
会場：多摩永山情報教育センター
〒206-0024 東京都多摩市諏訪 2-5-1
また，語学ゼミナール論集第5号（2021年度実施分，招待講師：Josef Bayer 教授）を刊行する。
 - ・ 第62回ドイツ文化ゼミナールを2023年3月に開催する。また，文化ゼミナール・オンライン代替企画の論集を Akten des JGG-Kulturseminars の第2号として刊行する。
 - ・ 第27回教授法ゼミナールを2023年3月に開催する。また，第24・25回教授法ゼミナールの論集 „Erträge des JGG-Seminars für Deutsch als Fremdsprache“ 第2号を刊行する。

4. ドイツ語教員養成・研修講座の実施
 - ・ ドイツ語教育部会，東京ドイツ文化センターとの共催で開催している「ドイツ語教員養成・研修講座」を2021年度に引き続き実施する。

5. 日本独文学会・DAAD賞の授与
 - ・ 第19回日本独文学会・DAAD賞（2020年度刊行分）の授賞式を2022年10月8日にオンラインで開催する。また，第20回日本独文学会・DAAD賞（2021年度刊行分）の選考を行う。

6. 日本独文学会研究叢書の発行（ウェブサイトによる電子出版）
 - ・ 日本独文学会研究叢書を学会HPにおける電子出版の形で公開する。

7. その他のドイツ語，ドイツ文学及びドイツ語教育の研究及び普及に資する事業
 - ・ 「日本独文学会岩崎基金」を用いた若手研究者の研究成果公開のための出版助成を行う。
 - ・ ドイツ語論文執筆ワークショップを11月に開催する。